

工学部

知能情報システムプログラム

取得できる学位 ★学士（工学）

■ プログラムの概要

- ・知能情報システムプログラムでは、知能情報システムと地球・人間・社会との関わり合いの中で生じている様々な課題を解決するために、知能情報システム分野の知識を幅広く身に付け、グローバルに様々な領域で活躍できる人材を養成する。
- ・知能情報システムプログラムでは、ソフトウェアとハードウェアに関する知識・技術をもとに、地球・人間・社会と調和した知能情報システムを創造できる能力を習得させる。

■ 人材育成目標

知能情報システムプログラムでは、知能情報システムと地球・人間・社会との関わり合いの中で生じている様々な課題を解決するために、知能情報システム分野の知識を幅広く身に付け、グローバルに様々な領域で活躍できる人材を育成する。

■ プログラムの到達目標（期待される学修成果）

| 1 | 知識・理解

- 知能情報システムの地球・人間・社会に及ぼす影響・効果を理解できる。
- 数学、物理学などの自然科学に関する基礎理論を修得する。
- コンピュータのソフトウェアに関する基礎的知識を修得する。
- コンピュータのハードウェアに関する基礎的知識を修得する。
- より専門性の高い知能情報システムの知識を修得する。

| 2 | 当該分野固有の能力

- 知能情報システム分野の問題を発見・整理・分析し、解決できる。
- 知能情報システムに関する実験を計画、実行し、データを解析、解釈し、定められた期間で報告できる。
- プログラム等の要求条件を理解し、プログラム設計等の作業スケジュールを立て、プログラム作成等を計画通りに実行できる。

| 3 | 汎用的能力

- グループ討論を通じて自分の考えを的確に伝えられると共に、他人の主張を正しく理解できる。
- 他の学生との共同作業を通じて、目的とする課題を達成できる。
- 科学技術分野の論文・マニュアルなどが理解でき、また、正しい技術文書を書ける。
- 人前で、資料に基づき、発表できる。
- 専門分野に関する英語の読み書き及びコミュニケーションができる。

| 4 | 態度・姿勢

- a) 技術者としての倫理・責任を自覚できる。
- b) 自主的、継続的に学習や設定課題に取り組むことができる。
- c) 他分野への興味を持ち、多種多様な考え方があることを理解している。

■■ プログラムの履修要件

- ・ 知能情報システム分野における基礎科目である数学、理科、外国語などバランスのとれた基礎学力と思考の柔軟性を身に付け、知能情報システムに強い興味と学習意欲を持ち、論理的思考力を兼ね備えていること。
- ・ 工学科共通科目及び情報電子分野導入科目を修得していること。

■■ カリキュラム立案と学修方法についての基本方針

- ・ 知能情報システム分野に関係する専門基礎科目及び専門応用科目を履修する。ここで、専門応用科目は知能情報システムの基礎から応用までを網羅するように厳選されている。
- ・ 情報工学の基礎理論、コンピュータ、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等の基礎を履修し、更に応用よりの科目も履修することで幅広い知識を身に付ける。
- ・ 卒業研修及び卒業研究を履修することにより、知能情報システムに関する課題を解決できる能力を修得する。